

演題 **竹島問題における隠岐諸島と鬱陵島**

日韓関係は戦後最悪といわれて久しい。日韓関係の改善には、韓国の歴史認識問題の原点である竹島問題の解決は避けて通れない。問題解決の糸口はどこにあり、何が必要なのか。今回の講座は隠岐地区を会場に、韓国の現状や竹島と関わりが深い隠岐と鬱陵島の関係にも触れながら、竹島問題を活かした地域振興策について考えます。

講師 **下 條 正 男 氏**

島根県立大学客員教授、第1期～4期竹島問題研究会座長

日時 令和3年10月23日〔土〕 午前10時～午前11時30分
場所 隠岐島文化会館 集会室（隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二2番地）
主催 島根県
定員 40名 （受講料無料・先着順）

【講師紹介】

1950年長野県生まれ。國學院大學大学院博士課程修了。1983年韓国三星綜合研修院主任講師、市立仁川大学校客員教授を経て、98年帰国。翌年拓殖大学国際開発研究所教授、2000年同大学国際開発学部アジア太平洋学科教授を歴任し、2021年3月に退官。現在は島根県立大学と東海大学海洋研究所の客員教授を務める。専攻は日本史。第1～第4期島根県竹島問題研究会座長。著書に「竹島 VS 独島」（ワニブックス）他。



【お申し込み方法】 申込期限：令和3年10月22日（金）

下記申込書を「竹島資料室」宛に、郵送またはFAXでお送りください。
電子メールの場合は「第2回竹島問題を考える講座申込」と明記の上、名前と電話番号を送信してください。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組とお願い】

発熱や咳・咽頭痛など体調不良の方は受講を控えてください。
受講中は必ずマスクを着用してください。
会場には手指消毒用の消毒液を用意し、定期的に会場内の換気を行います。
定員は会場収容人数の半分以上とし、隣席との身体的距離を確保（1席空ける）します。
そのほか感染拡大防止の取組を進めるため、業種別ガイドラインに従った取組を行います。
県内の感染拡大状況によっては開催を中止する場合があります。

【申し込み先・問い合わせ先】

島根県総務部総務課 竹島資料室 〒690-8501 松江市殿町1番地 県庁舎第3分庁舎
〔TEL〕0852-22-5669 〔FAX〕0852-22-6239 〔E-mail〕takeshima-shiryô@pref.shimane.lg.jp

キリトリ

令和3年度 第2回「竹島問題を考える講座」申込書			
（ふりがな） 名 前		電話番号	
次回講座案内 （どちらかに○）	不要・要	<送付先> 〒	

※提供していただいた個人情報につきましては、考える講座開催のみに利用します。